

学校法人 札幌静修学園グループ



農業から未来を考える 週末開講の農業スクール

アグリイノベーション大学校

募集要項

2024年春季新入生用



1. 目次

1. 目次	P. 1
2. 概要・募集コース	P. 2
3. 募集要項 農学部基礎課程	P. 3
4. 募集要項 オンライン課程	P. 4
5. 開講場所 実習農場	P. 4
6. カリキュラム	P. 5 - 6
7. 出願方法	P. 7
8. 学費サポート・補助制度	P. 8
9. 教育訓練給付制度	P. 9
10. 受講規約	P. 10 - 14

学校法人 札幌静修学園グループ

アグリイノベーション大学校について

あなたの農業人生が決まる学校

今、農業の価値が世界的に再認識されています。ただ「つくる」だけではない、自然と繋がり、生まれる多面的な価値。「食べる」という人間の根源的な営み。

そして、農業の可能性は無限大です。就農して農家になる。アグリビジネスで起業する。農を取り入れた暮らしや社会貢献。農業の受け皿は、全ての人に自分らしさをもたらしてくれます。

一方で、農業は難しいものです。自然と向き合うからこそ複雑で、百姓の言葉通り、柔軟な対応力が求められます。仕事にするには戦略も技術も仲間も必要です。

だからこそ、農業を総合的に学び、あなたらしい農業の可能性を最大化しましょう。
アグリイノベーション大学校は、「あなたの農業人生が決まる」学校です。

アグリイノベーション大学校は「学校法人札幌静修学園グループ」のグループ校です。

【個人情報の取り扱い】

アグリイノベーション大学校を運営する株式会社マイファーム(以下「弊社」)は、事業に関わる全ての皆様に安心と信頼を頂けるよう、本校業務において、皆様の大切な個人情報を保護することが、継続的な事業活動の基本であると共に、重要な社会的責務であると認識し、今後も引き続き個人情報の適正な取扱いに努めてまいります。

2. 概要・募集コース

1) アグリイノベーション大学校 農学部 基礎課程

アグリイノベーション大学校農学部基礎課程は、農業の技術と経営を総合的に学ぶ、本校のメインカリキュラムである「アグリスタンダードコース」をはじめ、さらに学びを高めたい方向けの「アグリビジネスコース」、技術のみを学びたい方向けの「アグリチャレンジコース」の3つのコースをご用意しています。

また、下記コースのいずれかを履修された方は卒業後の発展課程（選択科目）※を受講頂くことも可能です。

農学部 基礎課程 コース名	プログラム					募集期間	入学時期
	農業 技術		農業 経営	オンラ インサ ロン	ゼミ ナール		
	実習	講義	講義				
アグリスタンダードコース	○	○	○	○	オプション 受講可	2024年3月末 まで	年2回 春季 3月開講 秋季10月開講
アグリビジネスコース	○	○	○	○	○		
アグリチャレンジコース	○	○	×	×	×	秋季募集なし 春季のみ募集	年1回 春季 3月開講

※2年目以降に受講できるアドバンス学科をご用意しています。コース内容について入学後に別途ご案内致します。

2) アグリイノベーション大学校 オンライン課程

オンライン課程は、農業の技術と経営の講義をオンラインで学ぶプログラムです。アグリイノベーション大学校農学部基礎課程の講義動画をオンラインにて受講いただけます。

仕事や育児などで週末の通学が難しい方、既に就農されている方、遠方で通学が難しい方などにオススメのコースです。

オンライン課程 コース名	プログラム					募集期間	入学時期
	農業 技術		農業 経営	オンラ インサ ロン	ゼミ ナール		
	実習	講義	講義				
技術経営コース	オプション 受講可	○	○	×	×	随時募集	随時募集



3. 募集要項 農学部 基礎課程

出願資格		アグリイノベーション大学校のプログラムは、どなたでも申込み可能です。 ※未成年の方は、申込みの時点で保護者の方の同意が必要となります。
定員		関東校／スタンダード：42名 ビジネス：10名 関西校／スタンダード：20名 ビジネス：10名
受講期間		12カ月（2024年3月入学～2025年2月修了）
講義一覧	概要	< 概要 > ・土曜日または日曜日に開講（1コマ2時間、農場実習は1コマ3時間の講義） ・総受講時間 135 時間
	農場実習	<農場実習> 21コマ / 63 時間 ※うち2コマ：プロ農家視察、4コマ：研修DAY 9:30～12:30 講義 / 14:00～ 演習（任意参加） 関東校：横浜農場、千葉農場、埼玉農場から1つ所属農場を選択 関西校：大阪農場、京都農場から1つ所属農場を選択
	技術講義	<技術講義> 18コマ / 36 時間 13:00～15:00 / 15:20～17:20 関東校、関西校：オンライン
	経営講義	<経営講義> 16コマ / 32 時間 13:00～15:00 / 15:20～17:20 関東校、関西校：オンライン
	ゼミナール	<ゼミナール> 8コマ / 24 時間 9:00～12:00 関東校、関西校：オンライン ※その他、随時講師や事務局との相談が可能です。
	その他	<特別講義> 2コマ / 4 時間 13:00～15:00 / 15:20～17:20
日本農業技術検定2級受験料 (任意)		受験料 4,190円 (税込) ※日本農業技術検定2級 受験料は受験の際に別途お支払いいただきます。
学費	アグリスタンダード コース	計：760,430円 (税込) 内訳 受講料：723,800円 / 入学金：33,000円 / 教科書代：3,630円
	アグリビジネス コース	計：925,430円 (税込) 内訳 受講料：888,800円 / 入学金：33,000円 / 教科書代：3,630円
	アグリチャレンジ コース	計：487,630円 (税込) 内訳 受講料：451,000円 / 入学金：33,000円 / 教科書代：3,630円 ※春季募集のみ

※日本農業技術検定の試験は例年7月及び12月に開催されます。今季ご入学の方は、2025年12月に2級受検を目安とし、本校の受講期間中に2級に合格いただくことを推奨しています。

※募集定員は年度途中に変更する場合があります。詳細は本校ホームページでご確認ください。

※選択する農場によってスケジュールが異なります。詳細は事務局までお尋ねください。

※講義会場までの往復交通費については各自の負担となります。

※受講ツール使用の際は、スマートフォンまたは、PCやタブレット端末が必要となります。

※夏季の農場実習の受講期間はサマータイム制を導入する場合があります。

※農場の情報については要項P4の「5. 開講場所」をご参照ください。

※技術講義および経営講義は状況や目的に応じ、会場での講義も行います。

4. 募集要項 オンライン課程

出願資格		アグリイノベーション大学校のプログラムは、どなたでも申込み可能です。 ※未成年の方は、申込みの時点で保護者の方の同意が必要となります。
定員		定員なし
受講期間		随時受講開始可
講義時間	技術経営 コース	日曜日のみ開講（1コマ2時間） 〈全講義〉 34 コマ / 68 時間 13:00 ~ 15:00 / 15:20 ~ 17:20 （技術講義 18コマ / 36時間 経営講義 16コマ / 32 時間） 〈特別講義〉 2 コマ / 4 時間 13:00 ~ 15:00 / 15:20 ~ 17:20
学費	技術経営 コース	計：412,830円（税込） 内訳 受講料：376,200円 / 入学金：33,000円 / 教科書代：3,630円
オプション受講 （農場実習）		追加受講料 275,000円（税込） 畑での実践を通じて、学びを深めたい方に向けてのオプションです。 〈農場実習〉 21コマ / 63 時間 ※うち2コマ：プロ農家視察、4コマ：研修DAY 9:30~12:30 講義 / 14:00~ 演習（任意参加） 関東校：横浜農場、千葉農場、埼玉農場から1つ所属農場を選択 関西校：大阪農場、京都農場から1つ所属農場を選択

5. 開講場所 実習農場

関東校	横浜農場 住所：神奈川県横浜市泉区下飯田町1787-2
	千葉農場 住所：千葉県白井市復329-1
	埼玉農場 住所：埼玉県さいたま市西区飯田新田547
関西校	大阪農場 住所：大阪府富田林市須賀2丁目34
	京都農場 住所：京都府城陽市寺田南堤下20

各実習農場へのアクセスについては、本校公式Webサイトよりご確認ください。

公式サイトURL：<https://agri-innovation.jp/admission/>



※オプション受講の農場実習は、各農場定員となり次第、受付終了となります。
※選択する農場によってスケジュールが異なります。詳細は事務局までお尋ねください。



6. カリキュラム

農業経営講義

農業経営講義では、「Aシリーズ：農業を経営から理解する」「Bシリーズ：農業を社会から表現する」の大きく2つに分かれています。どんな農業人生を決めるにおいても必要なカリキュラムを全16コマに詰め込みました。A・Bシリーズの両方を学ぶことにより、あなたらしい農業の第一歩となる**マイプラン**を作っていきましょう。

Aシリーズ講義	学びのキーワード	講義テーマ	講義名
農業を経営から理解する 自分が農業やビジネスでやりたいことを追求	<ul style="list-style-type: none"> 農業経営の特徴 農業経営の実際 	農業経営とは	経営講義 1
	<ul style="list-style-type: none"> 経営とは ・ ビジネスとは 経営に必要な要素や実務について 	経営とは、ビジネスとは	経営講義 2
	<ul style="list-style-type: none"> 業界構造 ・ 農地に関わる制度やルール 新規就農や新規参入の壁 	農業経営の制約条件	経営講義 3
	<ul style="list-style-type: none"> スマート農業 ・ 大規模化、法人化 6次産業化、多角化 	農業経営の発展可能性	経営講義 4
	<ul style="list-style-type: none"> 経営目的 ・ 経営目標 経営計画 	経営戦略の作り方	経営講義 5
	<ul style="list-style-type: none"> 収益構造・コスト構造 ビジネスモデル 	ビジネスモデルの作り方	経営講義 6
	<ul style="list-style-type: none"> 管理会計 事業拡大 	経営、ビジネスの高度化	経営講義 7
	<ul style="list-style-type: none"> 自分の農業やビジネスでやりたいこと 	シリーズまとめ	経営講義 8

Bシリーズ講義	学びのキーワード	講義テーマ	講義名
農業を社会から表現する マーケットや消費者、社会に求められていることを探求	<ul style="list-style-type: none"> 農業界を俯瞰して学ぶ 様々な職種、関わり方 農業界の面白さ、楽しみ方 	農業界の歩きかた	経営講義 9
	<ul style="list-style-type: none"> マーケティングリサーチ マーケティング戦略・商品企画 	マーケティング	経営講義 10
	<ul style="list-style-type: none"> 農業界の構造 ・ 流通の仕組み 販路の特徴、選び方 	業界構造 販路選択	経営講義 11
	<ul style="list-style-type: none"> ブランディング 販売促進、営業手法 ・ 情報発信 (PR) 	ブランディング	経営講義 12
	<ul style="list-style-type: none"> 食業界、食ビジネス 食育 ・ 農業×食 	農業と食	経営講義 13
	<ul style="list-style-type: none"> 農業×地域 農業×社会貢献 ・ 農福連携 	農業と社会・地域	経営講義 14
	<ul style="list-style-type: none"> 政策的トレンド ・ 経済的トレンド 社会的トレンド ・ 技術的トレンド 	農業界のトレンド・未来	経営講義 15
	<ul style="list-style-type: none"> マーケットや消費者、社会に求められていること 	Bシリーズまとめ	経営講義 16

※カリキュラムは定期的に見直されるため、やむを得ず、内容等の変更の可能性があります。

技術講義・農場実習

技術講義で理論を学び、農場実習で実践する。まだどんな農業人生を選ぶかを考えているフェーズであれば、「如何なる環境でも自分で考えられる基礎力」が求められます。AICではこの基礎力のもとになる普遍的なチカラを身につけていただくために「技術講義」と「農場実習」をリンクさせるカリキュラムを提供しています。

目標	学びのキーワード	講義名	農場実習名	実習内容		
理論を学び実践する。 技術講義で学ぶ「原理原則」が、農場実習の作業にリンクしてあなただけの学びを深める。	エネルギー循環・植物の生命活動と物質の循環・栽培学の基本・植物生理・光合成と代謝・植物のからだ・植物と水・呼吸	技術講義 1 栽培学①～導入～ 技術講義 2 植物生理学	農場実習 1 農場実習 2	作物の播種、植付／農機具の使い方／施肥と耕運／土壌診断／農業資材／春夏野菜の栽培管理／害虫、病気の対策／堆肥・緑肥の活用／収穫と出荷調整／外部環境対策／プロ農家視察		
	土とは・土を知る・土のよし悪し・土の保全と農業生産 土壌の性質・土壌の三要素・土壌微生物・緑肥・土壌改良	技術講義 3 土壌学基礎① 技術講義 4 土壌学基礎②	農場実習 3 農場実習 4			
	植物の養分吸収・有機物を入れる意義・様々な元素・養分欠乏症状・肥料分類と性質・発酵肥料と施肥技術・堆肥・土壌分析	技術講義 5 植物栄養学 技術講義 6 肥料学	農場実習 5 農場実習 6			
	病虫害管理・ただの虫と害虫・病虫害の生態・病気発生条件・IPM・天敵・生理障害・土壌消毒	技術講義 7 作物保護学 技術講義 8 作物保護学	農場実習 7 農場実習 8			
	農薬の基本と種類・収穫後管理・予冷・各種農業資材・有機JASにおける資材活用・マルチ・太陽熱処理・植物ホルモン・アレロパシー	技術講義 9 農薬・ポストハーベスト学 技術講義 10 栽培学②～農業資材、雑草、農薬学～	農場実習 9 農場実習 10 農場実習 11			
	—	中間テスト（習熟度を確認）				
	自ら考え、基礎から応用へ。 これまでの講義や実習で学んだ知識を応用しながら学ぶ。現場の状況から仮説を立て畑で実践する。	植物ホルモン・樹形と仕立・草生栽培 ※実習現場では果樹を学ばない	技術講義 11 果樹概論		農場実習 12	※卒業後に果樹栽培や稲作栽培、植物育種に関わる人もいることを想定し、実習現場では準備できておりませんが、技術講義では専門家をお呼びして知識を身に付けて頂くためにご用意いたしました。
		稲栽培技術・稲の一生・収量構成要素 ※実習現場では稲作を学ばない農場有	技術講義 12 稲作概論		農場実習 13 農場実習 14	
		自家採取・育種・選抜	技術講義 13 植物育種繁殖学		農場実習 15 農場実習 16	
		育土・緑肥・緑肥を活用した育土・連作・事例から学ぶ	技術講義 14 栽培学③～育土・緑肥～		農場実習 17 農場実習 18	
		施設栽培・水耕栽培・環境特性・環境調節・植物生理・コスト	技術講義 15 施設園芸学		農場実習 19 農場実習 20	
土壌学の振り返り、冬の土作り、土壌分析、施肥設計		技術講義 16 土壌学応用	農場実習 21			
作付計画・品種・畑のローテーション・生産管理・販売管理		技術講義 17栽培学④～作付計画～				
総括・修了テスト		技術講義 18 総括・修了テスト				

※カリキュラムは定期的に見直されるため、やむを得ず、内容等の変更の可能性があります。



7. 出願方法



1) 入学申込

アグリイノベーション大学校への入学につきましては、下記の手順に従ってお申し込みください

①出願のお手続き（インターネットからお申込みもしくは願書を郵送）

公式WEBサイト「入学申込」から、申込みフォームで必要事項を入力ください。

<https://agri-innovation.jp>

※インターネットの入学申込以外の方は、入学願書を説明会等の会場で事務局にご提出頂くか、郵送にてご送付ください。

〈宛先〉 関東校 〒108-0073 東京都港区三田二丁目14番5号フロイントウ三田508号室

関西校 〒600-8216 京都府京都市下京区東塩小路町607番地 辰巳ビル1F

(株) マイファーム 「アグリイノベーション大学校 事務局」宛

②入学金及び受講料のお支払い

事務局より入学金及び受講料のお支払いについてご案内いたします。

お支払い方法は、下記よりお選びいただけます。

1：クレジットカード払い（一括）

ご利用可能なクレジットカードの種類はVisa/Mastercard/JCB/AMERICAN EXPRESS/Diners Cardとなります。

2：クレジットカード払い（分割）

分割回数は、2回、5回、10回からお選び頂けます。

お客様がご利用になるクレジットカードのご契約内容により、カード会社への分割手数料が発生することがあります。（分割に係る弊社への事務手数料は発生いたしません）

3：銀行振込（一括）

銀行振込の手数料はお客様負担となります。

4：ローン支払い（分割）

受講料の分割払いが可能です。SMBCファイナンスサービス株式会社とイオンプロダクトファイナンス株式会社の2社と提携し、2種類の学費ローン制度をご用意しています。分割払いの手数料は分割回数によって利率が異なります。利用には審査がございます。審査の結果はご希望に添えない場合もございますのでご了承ください。

SMBCファイナンスサービス株式会社をご利用の場合、ローン対象は受講料のみとなります。

（入学金、テキスト代金等は対象外）

※解約を申し出た場合、基礎課程の受講生には入学後7ヵ月以降の受講料について一部返金を行っておりますが、ローン支払いをご利用の受講生は解約を申し出ても返金できませんのでご了承ください。

上記「①出願のお手続き」と「②入学金および受講料のお支払い」が完了し、本校が当該申込みを承諾した後、入学お申込みが完了となります。受講規約を必ずご確認の上、お申し込みください。

2) 入学生オリエンテーション（動画）

より学びを効果的にしていただくため、入学生オリエンテーションを動画にて案内しております。

入学生オリエンテーション動画では、受講規約や、受講に関する学習ツール等についてご説明致します。また、個別の入学面談（入学理由ヒアリング・キャリア相談など）を設けております。

日時：ご入学申込後、動画視聴URLをご案内致しますので、入学式までにご視聴ください。

持ち物：視聴にあたっては筆記用具（ボールペン）、スマートフォンもしくはモバイルPCをご用意ください。

8. 学費サポート・補助制度

本校では、受講料のお支払いにつきまして補助制度を設けています。（割引価格はすべて税別となります）

各種割引制度

1. 家族割引

ご家族でご受講いただく場合、2人目以降の受講料は10%割引となります。例えば、ご夫婦やご兄弟でご受講された場合に適用となります。（※）

2. 法人割引

同法人で2名以上ご受講いただく場合、2人目以降の受講料は10%割引となります。（※）

（※）割引について

- ・同一の銀行口座またはクレジットカードからの支払いに限ります。（教育訓練給付金受給希望者は例外）
- ・受講料の異なるコースをお申込みいただいた場合、受講料の低い方のコースに適用されます。

教育訓練給付制度

教育訓練給付制度（一般教育訓練）とは、受講料の20%までが、国から支給される制度です。（上限10万円）

アグリイノベーション大学校の「農学部基礎課程アグリビジネスコース・アグリスタンダードコース・アグリチャレンジコース」は、厚生労働省の教育訓練給付制度の指定口座です。対象年度も当講座が指定された場合、受講生は受給申請することができます。

詳細は厚生労働省ホームページならびに本学ホームページの「教育訓練給付制度」の案内をご確認ください。

※アグリビジネスコース・アグリスタンダードコースは2018年より指定されています。

※教育訓練給付制度を利用する場合、全講義3分の2以上の出席および本校が指定する試験での合格（受講期間中に限る）が修了認定要件に含まれます。

※オンライン課程は、一般教育訓練給付金対象講座ではございませんのでご注意ください。

若手応援奨学金（給付型）

アグリイノベーション大学校を運営する株式会社マイファームは、新たな担い手が農業への挑戦をスタートすることを応援するために独自の奨学金（給付型）を設けています。奨学金（給付型）の応募用紙は本校公式WEBサイトよりダウンロードの上、事務局までお送りください。



<https://agri-innovation.jp/kyouiku/>



9. 教育訓練給付制度

教育訓練給付制度対象：

農学部 基礎課程 アグリスタンダードコース・アグリビジネスコース・アグリチャレンジコース

**教育訓練給付制度（一般教育訓練）とは、
受講料の20%まで（上限10万円）が国から支給される制度です。**

国の定める対象要件と、アグリイノベーション大学校の修了要件を満たした場合のみ対象となります。

教育訓練給付金は、「働く方の主体的な能力開発の取組み又は中長期的なキャリア形成を支援し、雇用の安定と再就職の促進を図ることを目的とし、教育訓練受講に支払った費用の一部が支給されるものです。（厚生労働省HPより）」

受講を通じて、再就職・転職を目指す方はもちろん、現在お勤めの企業でのキャリアアップを目指す場合も当てはまります。対象者の方が、指定講座を受講し修了した場合、本人が支払った教育訓練経費の20%（上限10万円）に相当する額が給付金としてハローワーク（公共職業安定所）から支給されます。

【対象要件】

雇用保険の被保険者期間が3年以上の方

※初回に限り、被保険者期間1年以上の方

※2回目以降は被保険者期間3年以上かつ給付金受給後3年以上経過した方

アグリイノベーション大学校の「農学部基礎課程アグリビジネスコース・アグリスタンダードコース・アグリチャレンジコース」は、厚生労働省の教育訓練給付制度（一般教育訓練）に指定された講座です。対象年度も当講座が指定された場合、受講生は受給申請することができます。

※アグリビジネスコース・アグリスタンダードコースは2018年より指定されています。

※オンライン課程は対象外となります。

本校ではカリキュラム内容の改善に伴い、一般教育訓練の再指定に関する手続きを行っております。指定可否の結果が通知され次第、入学生及び入学希望者へご案内いたします。

【注意事項】

- ・本校の講座が指定されなかった場合は、受給できませんので予めご了承ください。
- ・勤務先から補助がある場合には、その金額を差引いた額が教育訓練経費となります。
- ・ご本人名義のクレジットカード・銀行口座からお支払いになった場合のみ、教育訓練給付制度を利用することができます。
- ・奨学金制度の利用や入学料の割引など、対象講座の受講に付随して割引や特典を受けた場合には、その金額を差引いた額が教育訓練経費となります。

10. 受講規約

アグリイノベーション大学校（以下、本校という）は、株式会社マイファーム（以下、弊社という）が企画・運営し、提供する教育サービスです。

本校の受講に関し、以下の通り受講規約（以下、本規約という）を定めます。

受講申込みにあたっては、本規約をご確認いただき、必ず、ご承諾の上、お申し込みください。受講申込みの時点で、本規約の内容を承諾いただいているものとみなします。

第1条 （目的）

本校は、主に農業分野への参入を目指す受講生に対し、農業技術および農業経営への知識・理解を深める機会を提供すると共に、農業界を牽引する人材の育成を目的に設立されたものです。

第2条 （規約の適用）

- 1.本規約は、本校が提供する教育プログラム（以下、本プログラムという）の一切に対し、適用します。但し、本校が法令に反せず、受講生の不利益にならない範囲で、書面により特約を締結した場合には、その特約が優先します。
- 2.弊社は、次の各号すべての要件を満たし、本規約を承諾の上、弊社の指定する手続きに基づいて受講申込みを行い、弊社が申込みを承認した個人の方を、受講生とします。
 - (1)受講申込みの時点で、本規約の違反等により本プログラムの受講を停止されていないこと
 - (2)受講申込み以前に、本規約の違反等により退学処分を受けたことがないこと
 - 3.本プログラムの募集要項に定める、プログラムが開講する期間を、受講期間といいます。

第3条 （受講申込み）

- 1.受講申込みにあたっては、アグリイノベーション大学校のウェブサイト内、入学申込みフォームへの必要事項の記入と提出、もしくは入学願書の提出を以て本校が当該申込みを承諾し、かつ申込者からの所定の受講料および入学金や入学時必要費用のお支払いが完了したことを確認できた時点で、本プログラムの受講に関する契約（以下、受講契約という）が成立するものとし、受講生として本プログラムの提供を受けることが可能となります。受講申込み手続きは、本規約の内容を理解の上、本規約に定める各条項に承認および同意いただけない場合には、申込みをすることができません。
- 2.前項の形式によらず、別途契約書を締結する場合は、当該契約書に弊社および申込者の双方が署名又は記名押印し、受講料および入学金のお支払い手続きが完了し、申込み者からの入金を確認できた時点で、受講契約が成立するものとします。なお、当該契約書と本規約の内容が異なる場合は、当該契約書の内容が優先するものとします。
- 3.受講申込みを行った方が、次の各号いずれかに該当することが判明した場合、本プログラムの受講をご遠慮いただく場合がございます。
 - (1)第2条2項の各号に定めた受講生の要件を満たしていないことが判明した場合
 - (2)受講申込み時に届け出の内容に、虚偽もしくは著しく不正確な内容が含まれていることが判明した場合
 - (3)受講生が未成年者である等の理由により、本プログラムへの受講申込みについて法定代理人の同意が必要な場合に、その同意がない場合
 - (4)受講生の申込みを承諾することで、本プログラムの運営に支障をきたす恐れがあると弊社が判断した場合
 - (5)当該受講生の反社会的又は不当な行為等により、他の受講生の心身状態に危険を及ぼす恐れがある等の理由で、本プログラムの受講が不適切であると弊社が判断した場合
 - (6)その他、合理的な事由により、本プログラムの受講が不適切であると弊社が判断した場合
- 4.受講申込みの時点で、受講生となる方が未成年である場合、保護者の方の同意が必要となります。所定の書面によって同意の表明をいただく必要がありますので、本校事務局までお問い合わせください。



第4条 (受講料)

1. 受講料は、受講するプログラムの募集要項により定めます。
2. 受講料には、以下の費用が含まれます。

- (1)本プログラムの受講料

- (2)その他、本校が受講料に含まれていると明示する関連サービス

なお、受講料に含まれていることを明示しない費用については、受講生の負担となります。

3. 受講料には、以下の費用は含まれません。

- (1)本プログラム受講のために必要となる交通費、宿泊費、そのほか個別の経費

- (2)本校が実施主体ではないプログラムやサービスの料金

- (3)受講料およびその他の費用の振込手数料

4. 受講料の支払い方法については、受講するプログラムの募集要項により定めます。

なお、支払いにあたっては、金融機関または別途弊社の定める支払条件に従うものとします。

5. 受講生と金融機関の間で、受講料その他の債務を巡って紛争が発生した場合、当該当事者間で解決するものとし、弊社は一切の責任を負わないものとします。

第5条 (受講生による解約)

1. ビジネスコース・スタンダードコース・チャレンジコースの各種コース受講生は、病気その他やむを得ない理由で退学を希望する場合、本校所定の退学届に記入し、退学理由の確認できる証明書等を添付の上、以下に定める取消料金を支払うことにより、受講の途中であっても受講契約を解約することが可能です。

2. ビジネスコース・スタンダードコース・チャレンジコースの各種コース受講生は、入学後6ヵ月間の受講料については解約しても返金はいたしません。入学後7ヵ月以降の受講料については、受講生からの解約の申し出と月末までの退学届提出を以て、既に受講生から収受した受講料から、以下に定める取消料金を控除した残金を返金します。なお、受講生の負担となる費用は、本校への支払いを完了している、いないに関わらず発生します。本校より未請求または受講生から未払いの段階での解除の場合、差額を請求いたします。

取消料金

- (1)受講料を受講期間の月数で按分した額に、在籍した月数を乗じた額（以下、提供済受講料という）

- (2)受講料から提供済受講料を減じた金額の20%に相当する額

3. 在籍した月数を算定するにあたっては、解約の申し出を行った月を最終月とし、受講期間が開始した月からの月数とします。日割では算出しません。

4. 受講について、入学式14日前までの解約にあたっては、事務手数料2万円（税別）のみ請求いたします。既に受講料を収受している場合は、事務手数料を差し引いた残金を返金します。

5. オンライン通信コースについては、受講途中の解約について返金はいたしません。

6. 受講契約の締結後は、入学金、テキスト代金の返金はいたしません。

7. SMBCファイナンスサービス株式会社またはイオンプロダクトファイナンス株式会社による学費ローンをご利用し受講される場合、受講途中の解約について返金はいたしません。

第6条 (弊社による契約解除)

1. 受講生が、次の各号いずれか一つでも該当する場合、弊社は催告のうえ、本規約に基づく受講契約を解除することができるものとし、退学除名処分となります。

- (1) 受講申込みをした方が実在しない場合

- (2) 本校の運営を妨害した場合

(3) 本校の承諾なしに、ネットワーク的販売の勧誘、先物取引の勧誘等を含む、金銭対価を発生する取引の勧誘を行った場合

- (4) 本校の承諾なしに、弊社と同等または類似のサービス、ビジネスの勧誘を行った場合

- (5) 本校の承諾なしに、宗教団体や政治団体への誘致・勧誘を行った場合

- (6) 指定の期日までに受講料が支払われない場合

(7) 本校の承諾なしに、受講生以外にプログラムに関連する資料等を貸与または譲渡した場合、または媒体を問わず複製した場合

- (8) 他の受講生からクレームがあり、弊社がそのクレームの妥当性を認めた場合

(9) 本人またはその所属先が、暴力団、暴力団構成員、準構成員、暴力団関係企業、総会屋、社会運動標榜ゴロ、特殊知能暴力集団、またはその他の反社会的勢力である場合

- (10) 本規約のいずれかに違反した場合

- (11) その他合理的な事由により、弊社が受講生として不相当と判断する場合

2. 前項に従って参加資格が取り消された受講生は、当該時点で発生している受講の料金その他の債務等、弊社に対して負担する債務の一切を一括して履行するものとし、既に収受した受講料その他一切の費用の払い戻しは行いません。

第7条 (受講に関わるオンラインサービス)

受講生は、本規約及び「個人情報保護方針」に同意の上で、本校オンラインサービスを利用するものとします。

1. アカウント情報の登録

受講生は、本規約に同意した上でアカウント情報(登録された情報及びアカウントに関する全ての権利、権益を含みます。以下同様)の登録を行い、登録したアカウント情報を使用して、本校オンラインサービスを利用することができるものとします。なお、アカウント情報が不正確又は虚偽であるために受講生に損害が発生しても、本校及び弊社は一切責任を負わないものとし、受講生はこれに同意するものとします。

受講生が登録したアカウント情報で利用可能な個別サービスの追加及びその他の変更については、弊社が任意に行うことができるものとし、受講生はこれに同意します。

これらの変更に関する情報は、弊社から、受講生に対し、サービス提供画面により通知されるものとし、それにより受講生はこれを認知するものとします。

受講生は、自己のアカウント情報を、いかなる目的でも、第三者に対して、譲渡、貸与、使用等させることはできないものとします。

2. アカウントの管理等

受講生は、アカウント情報を自己の責任と権限において管理するものとし、弊社は、登録したアカウント情報によって本校オンラインサービスが利用された場合、当該アカウント情報を登録した受講生本人による利用とみなすものとします。第三者によりアカウント情報が不正に使用され、受講生に損害が発生した場合であっても、当該アカウント情報を登録した受講生本人がその全ての責任を負うものとします。

3. 個人情報の取扱い

受講生によるアカウント情報の登録、登録したアカウント情報に基づく各個別サービスの利用に際して本校が取得する個人情報の取扱いについては、「個人情報保護方針」の内容に従うものとします。

4. 権利の帰属

本校オンラインサービス上にあるコンテンツ(以下、本コンテンツ)は、著作権をはじめとした知的財産権を有し、各法令及び国際法によって保護されています。本規約に基づく許諾は、本コンテンツの使用について許諾する、いわば使用権に関する許諾であり、本コンテンツの著作権は本規約の同意に拘わらず、引き続き弊社に帰属します。また本コンテンツはアップロードされた日より本校の定める公開期間終了月末で削除されます。

5. 禁止事項

受講生が本校オンラインサービスを利用される場合、次の各号に掲げる禁止事項は十分ご留意の上、遵守頂くものとします。

(1)本コンテンツの使用及び本規約に基づく許諾は、1.で定義した正規の受講生一名、または一法人に限ります。第三者に転売、譲渡、貸与等することはできません。オークション、国外販売等も禁じます。

(2)不正使用・海賊版等を助長・ほう助する恐れのある使用方法や行為はできません。

(3)公序良俗に反する目的での使用、法律に反する使用、名誉毀損に関わる恐れのある使用はできません。

(4)商品化(販売用のBlu-ray DiscやDVD等の商品やデジタルコンテンツなど)及び出版物(付属DVDや電子書籍含む)にはご使用できません。

(5)業務用もしくは民生用を問わず、複数人での視聴にあたる使用・配信をすることはできません。

前項に含まれる項目の違反を発見・発覚した場合、弊社から即座に違約金として通常の利用料金の10倍に相当する額を請求させていただきます。

6. 弊社の対応

受講生による本規約への違反を確認した場合、弊社は自社の判断により、受講生に対する事前の告知なく、受講生が登録したアカウント情報の削除、書き込みの削除を含む弊社が適切であると判断する一切の対応を行い、受講生はこれに同意します。

受講生は、弊社による書き込みの削除、受講生が登録したアカウント情報の削除を含む一切の対応について、弊社に対して異議を唱えないことに同意します。

7. 免責事項

弊社は、本校オンラインサービスに掲載される情報の正確性、合法性、道徳性、最新性、適切性等について何ら保証するものではありません。

8. 本校オンラインサービスの変更および終了

弊社は、弊社の都合により、提供するサービスの内容を変更し又は提供を終了することができます。弊社がサービスの提供を終了する場合、弊社は原則として受講生に対して、事前に通知又は公表します。

9. 一般条項

本利用規約に定める条項の一部が強行法規への抵触その他の理由により無効とされた場合であっても、当該無効とされた条項以外の他の条項は有効に存続するものとします。この場合、当該無効とされた条項は、当初に意図された経済的目的が可能な限り達成できる有効な条項に当然に置き換えられるものとし、受講生は予め同意するものとします。

受講生は、弊社の書面による事前の同意なく、本利用規約上の地位又は本利用規約に基づく権利若しくは義務につき、第三者に対し、譲渡、移転、担保設定、その他の処分をすることができません。

本利用規約は、日本法を準拠法とし、同法に基づいて解釈されます。本利用規約及び受講生による本校オンラインサービスの利用に起因又は関連して生じた一切の紛争・問題については、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。



第8条 (受講生情報の登録)

1. 本校は、受講契約を締結した時点より、本校の定めるデータベース上に当該受講生の受講生登録を行います。
2. 本校は、受講期間を満了した時点より、本校の定めるデータベース上に当該受講生を修了生として登録いたします。
3. 受講生および修了生として登録された個人情報は、弊社のプライバシーポリシーに基づき、適正な管理を行います。
4. 受講生は、本校に届け出た連絡先等の情報（以下「登録情報」という）に変更があった場合には、本校事務局へ変更の連絡を行うものとします。
5. 登録情報の不備や、変更手続きを行わなかった等の理由により、受講生が本プログラムの提供および附帯サービスの利用を十分に実現できなかった場合においても、本校は責任を負わないものとします。

第9条 (契約内容の変更)

1. 本校は、本校のシラバスに基づき、適切なプログラムの提供を行うよう努めますが、天候や講師の事情により代理の講師による講義、あるいは、日時・場所・内容等の変更をやむなく行う場合がございます。
2. 予定していた講師が、法令、公序良俗、慣例に違反したことにより、講義が遅延または中止になる場合がございます。
3. 開講にあたり本校が定める最少催行人数に達しなかった場合、あるいは、プログラムの開講に支障をきたすやむを得ない事由がある場合には、当該プログラムの閉講もしくは開講の延期を行う場合がございます。閉講もしくは開講前に長期延期が決定した場合、本校が既に受講生から収受した受講料および入学金については全額を返金いたします。

第10条 (休学)

1. ビジネスコース・スタンダードコース・チャレンジコース受講生は、やむを得ない事由により受講の継続が困難となった場合、休学手続きを行うことができます。本校所定の方法により、休学の手続きを行います。
2. 休学する受講生は、休学の申し出を行った時点より、18ヵ月以内の復学が認められます。
3. ビジネスコース・スタンダードコース・チャレンジコース受講生が休学する場合は、受講料の支払いは継続され、既に収受した受講料は返金いたしません。
4. 復学する時点で、休学したプログラム内容および受講料が変更となっている場合、新しいプログラムおよび受講料にて復学することとなります。
5. 休学中はオンラインサービスの利用含め受講サポートは一時利用停止とします。
6. 復学は休学までに受講した期間を差し引いた期間を新たな受講期間として復学を認めるものとする。

第11条 (講義の欠席および振替)

1. オンライン講義はアーカイブにて後日視聴頂けますので、振替はございません。
2. 農場における実習講義については、原則翌年度の振替受講をお断りしています。欠席する場合、受講期間中の当該日程のみ、他会場での受講が可能となりますので、本校事務局までお申し出ください。

第12条 (受講生情報の利用)

1. 受講生および修了生は、本プログラムの受講を通じて、本校が知り得た受講生情報を、本校が次の各号に定める利用目的のため、必要な範囲内で収集・取得し、当該利用目的の範囲内で利用することについて、予めこれに同意するものとします。
 - (1) 第11条における受講生の資格要件の確認を行うため
 - (2) 本プログラムの提供にあたって、運営上必要な事項を受講生に通知するため
 - (3) 本プログラムに付随するセミナー・研修会・イベント等（パートナー企業・団体に置けるものを含む）、本校およびパートナーのサービスに関する情報提供を行うため
 - (4) 本プログラムの改善に資するアンケート等の実施および検証を行うため
 - (5) 卒業後の進路情報等、本プログラムに付随するサービスに関する情報提供のため
 - (6) 受講生および修了生の交流を目的とした情報提供のため
2. 前項に定める目的のほか、本校が、予め利用目的を明示して受講生の承諾を得た上で当該利用目的の範囲内で受講生情報を収集・取得する場合がございます。その場合、本校は、予め明示した利用目的の範囲内において受講生情報の利用を行います。
3. 受講生および修了生から、情報提供の中止についての申し入れがあった場合、本プログラムの提供に支障が生じる場合を除いて、本校は求めに応じた、案内物の送付停止等の措置をとるものとします。

第13条 (修了要件)

本校は、技術講義、経営講義及び農場実習への3分の2の出席を修了認定要件とし、所定の課程の修了要件を満たした者に修了を認め、修了証書を発行する。

第14条 (権利の帰属)

1. 本プログラムにおいて提供される、著作権、その他の知的財産は、全て弊社に帰属するものとし、無断利用は固くお断りします。
2. 受講生および修了生が、テキスト、文書、様式など、本講座において弊社から提供されるあらゆる形のコンテンツの一部または全部を、弊社の許可なく、複製・転用・販売などの二次利用することを固く禁じます。
3. 本プログラムの受講にあたって知り得た、講師、メンター、および他の受講生の、技術、営業、会計、その他事業に関する秘密情報に関して、当人の許可なく、発表、公開、漏洩、利用することは固くお断りします。
4. 本プログラムの受講にあたって、受講生および修了生が、他の受講生が実行ないし企画する事業について、助言および協力をおこなった場合、有体物、無体物の別にかかわらず、その利用権は、すべて当該事業を発案した者に帰属するものとします。

第15条 (免責事項)

1. 本校は、次の各号に該当する事項およびその事項によって受講生に生じた損害については責任を負いません。
 - (1) 受講生の主観的事由に基づき、学習プログラムに参加しない場合
 - (2) 本校が管理できない事由、または、予定していたプログラムの講師が法令、公序良俗、慣例に違反したことにより、授業が遅延または中止となった場合
 - (3) 各種交通機関のスケジュールの変更、改正、その他の事由により、予定していたプログラムの日程、その他の内容がやむを得ず変更となった場合
2. 本プログラムの受講にあたって、受講生および修了生が、第三者に対して損害を与えた場合、当該受講生および修了生は、自己の責任と費用をもって解決するものとします。
3. 本プログラムの受講にあたって、ケガなど、受講生の身体に損害を負った場合、原則は受講生の自費にて治療にあたるものとします。但し、本校の重過失が認められる場合においては、この限りではありません。
4. 本プログラムの受講にあたって、所持品については当該個人の責任をもって管理することとし、盗難等の発生にあたっては、当該受講生および修了生自ら解決するものとします。
5. 次の各号に該当する事項の正確性・完全性・有用性について、本校は保証をするものではなく、万一、これに基づいて受講生および修了生が損害を受けた場合でも、本校は一切責任を負いかねますのでご了承ください。
 - (1) 講師および補助者が提供する数字、景況判断、予測、意見、助言、診断等の情報
 - (2) 教科書及び参考資料に含まれる数値、景況判断、予測、意見、助言、診断等の情報
 - (3) 他の受講生が提供する数値、景況判断、予測、意見、助言、診断等の情報
 - (4) 前各号の情報には、個人の氏名、役職及び略歴、団体の名称及び活動内容、住所、電話番号、ファクシミリ番号、URL、電子メールアドレスを含みます。

第16条 (本規約の変更)

弊社は、受講生への事前の通知をもって、本規約を変更することができるものとします。

以上

附則

1. この規約は、平成29年5月10日より適用する。
2. この規約の一部を改訂し、平成30年3月17日から実施する。
3. この規約の一部を改訂し、令和元年11月1日から実施する。
4. この規約の一部を改訂し、令和2年4月20日から実施する。
5. この規約の一部を改訂し、令和3年1月1日から実施する。
6. この規約の一部を改訂し、令和3年12月15日から実施する。
7. この規約の一部を改訂し、令和4年12月12日から実施する。

「自産自消」のできる社会へ



運営会社

- 【社名】 株式会社マイファーム（英名：MYFARM, Inc.）
- 【代表者】 西辻 一真（にしつじ かずま）
- 【創業】 2007年9月26日
- 【資本金】 1億9,750万円
- 【主要株主】 株式会社ツムラ、株式会社マイナビ、自然電力株式会社、株式会社welzo、DCMホールディングス株式会社、SBテクノロジー株式会社、カーコンビニ倶楽部株式会社、前田工織株式会社、東京センチュリー株式会社、ベルグアース株式会社、尾道産業株式会社、株式会社ラプラス・システム、株式会社富山、株式会社ナンバ、全国農業協同組合連合会 など
- 【京都本社】 〒600-8216 京都府京都市下京区東塩小路町607番地 辰巳ビル1F
- 【東京オフィス】 〒108-0073 東京都港区三田二丁目14番5号フロイントゥ三田508号室
- 【福岡オフィス】 〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東一丁目14番3号 第2サンライト東口ビル1F
- 【沖縄オフィス】 〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地1-1-1 パレットくもじ9F
- 【従業員数】 236名（うちアルバイト158名）※2023年8月末時点
- 【子会社】 株式会社アグリルネッサンス
- 【受賞歴】 2022年6月 公益社団法人日本青年会議所「JCI JAPAN TOYP」農林水産大臣奨励賞 受賞《個人表彰》（代表取締役 西辻一真）
2018年2月 農林水産省「未来につながる持続可能な農業推進コンクール」
有機農業・環境保全型農業部門 生産局長賞 受賞（アグリイノベーション大学校）
2017年1月 平成28年度・総務省「ふるさとづくり大賞」総務大臣賞 受賞
2013年7月 日本河川協会・第15回 日本水大賞グランプリ 受賞
2010年1月 環境省・総務省等主催 eco japan cup2009ビジネス部門大賞 受賞
- 【事業内容】 耕作放棄地の再生及び収益化事業／体験農園事業（貸し農園、情報誌の発行）／農業教育事業（社会人向け新規就農学校、農業経営塾）／農産物生産事業および企業参入サポート／流通販売事業（農産物の中間流通・通信販売）

アグリイノベーション大学校事務局

京都オフィス / 〒600-8216 京都府京都市下京区東塩小路町607番地 辰巳ビル1F

東京オフィス / 〒108-0073 東京都港区三田二丁目14-5 フロイントゥ三田508号室

TEL: [関東校] 050-3450-1080 [関西校] 050-3450-0229（営業時間 / 10:00~20:00 *水・祝を除く）

MAIL: info@agri-innovation.jp

URL: <https://agri-innovation.jp/>